

地域高齢者のための摂食・嚥下リスク評価尺度改訂版

番号	食事中にあらわれる症状の質問	ほとんどない	まれにある	時々ある	いつもある	点数
1	水分や食べ物が鼻にあがる	0	1	2	3	咽頭期 点
2	食べ物をいつまでも飲み込まずに嚥んでいる	0	1	2	3	
3	水分が飲み込みにくい	0	1	2	3	
4	ご飯が飲み込みにくい	0	1	2	3	
5	食べ物がのどにひっかかる感じがする	0	1	2	3	
6	食べ物がのどに残る感じがする	0	1	2	3	
7	食事中や食後に濁った声に変わる	0	1	2	3	
8	水分や食べ物が口に入ったとたんにもせたり、せきこんだりする	0	1	2	3	誤嚥 点
9	水分や食べ物を飲み込む時にむせたり、せきこんだりする	0	1	2	3	
10	水分や食べ物を飲み込んだ後にむせたり、せきこんだりする	0	1	2	3	
11	水分を飲み込むときにむせる	0	1	2	3	
12	ご飯を飲み込むときにむせる	0	1	2	3	
13	嚥むことが困難である	0	1	2	3	準備・口腔期 点
14	硬い食べ物を避け、軟らかい食べ物ばかり食べる	0	1	2	3	
15	口がパサパサしていると感じる	0	1	2	3	
16	パサパサ、モサモサした食べ物は飲み込みにくい	0	1	2	3	
17	口から食べ物がこぼれる	0	1	2	3	
18	ことばが明瞭でない	0	1	2	3	
19	食べ物を飲み込んだ後に舌の上に食べ物が残る	0	1	2	3	
20	食べるのが遅くなる	0	1	2	3	
21	食べ物や酸っぱい液が胃からのどに戻ってくる	0	1	2	3	食道期 点
22	食べ物が胸につかえる感じがする	0	1	2	3	
23	胸やけがする	0	1	2	3	
合計点数(6点以上の場合、 摂食・嚥下障害リスクあり と判定する)						点

文献:

深田順子ほか: 高齢者における嚥下障害リスクに対するスクリーニングシステムに関する研究
日本摂食・嚥下リハビリテーション学会誌. 10(1):31-42, 2006

